

薩摩町制施行50周年記念式典 盛大に開催

12月5日、薩摩町制施行50周年記念式典が、町改善センターで450名の町民、来賓、関係者が参加して開催されました。

最初に薩摩中吹奏楽部の演奏、また50周年を記念して作られた町を紹介する記念番組が放映されました。

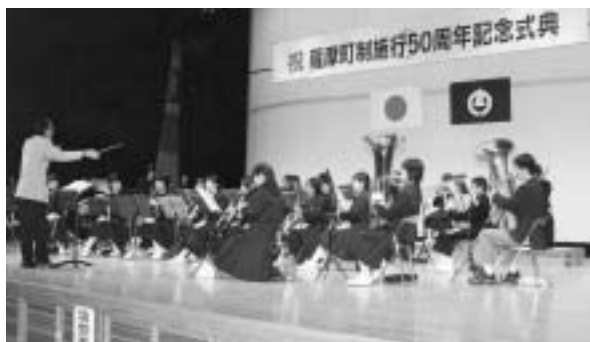
式では国歌斉唱、黙とうに続き、山口町長が「我が薩摩町は求名村、永野村、中津川村が合併して昭和29年に誕生しました。幾多の困難を乗り越え、こうして50周年を迎えられたことは、町民各位のたゆまざる不断的努力によるものです。今回50周年を契機に、従来にも増して住み良い町づくりのために全力を傾注していきたい。希望ある未来のために、新たな時代へ力強く歩み続けていくことを、改めて確認することに意義があるものと思います。」と時折言葉を詰まらせながら式辞を述べました。

その後、町政功労者等に対する表彰がおこなわれ、そのうち町民栄誉賞を、昭和16年と17年明治神宮国民体育大会陸上2000mで鹿児島県代表として連続優勝を果たし、町社会教育委員、町体育協会長として活躍された宮持影市さんが受賞されました。

▶町民栄誉賞を授与された宮持影市さん



▶オープニング薩摩中吹奏楽部



▶会場を埋めた来場者の皆さん



▶50周年記念作文の発表
(薩摩中三年轟原早苗さん)



お礼

今回の薩摩町制施行50周年に際し、関東求名会、関東永野会、関東中津川会、(株)東農園の皆さま方から祝いをいただきました。心よりお礼申し上げます。

▶式典に引き続きおこなわれた祝賀会での出し物「永野小唄」の発表の様様

